

# TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

Bridge the Gaps

創立/1954年(昭和29年)6月30日  
 事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内  
 TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp  
 例会日/毎週火曜日 例会場/武生商工会館  
 会長/佐々木忠彦 幹事/河嶋 一 会報委員長/丹羽新吾

2012-2013 第2650地区テーマ  
**隔たりをなくそう**



2012-2013 RI テーマ  
**奉仕を通じて平和を**

## 第2841回 例会記録 平成24年10月23日(火)

会員総数61名(内出席免除会員8名) 本日出席会員36名  
 メークアップ(前々回) 7名  
 出席率(前々回補正) 80.36%  
 ロータリーソング「四つのテスト」  
 ゲスト 米山地区委員 高山武久氏(武生府中RC)  
 イスラム・エムデイ・アティックール氏  
 (世話クラブ 敦賀RC)

### 会長挨拶 佐々木会長



今日は「米山月間に因んで」ということで、バングラデシュから来られたアティックールさんの卓話を戴きます。よろしくお願いします。

今日は十二節気の一つで「霜降」です。露が冷気によって霜となって降り始めるころです。楓や蔦が紅葉し始めるころです。日本列島が北から徐々に、燃えるような赤になります。この頃から立冬までの間に吹く寒い北風を木枯らしと言います。秋の気配がようやく去って、各地で朝霜を見る季節になります。この頃になると虫の音もかなり減り、秋も一段と深まります。

先々日の21日に大野ロータリークラブの創立50周年記念式典が多田記念大野有終会館で開かれました。記念式典の後、河本ガバナーも出席されての懇親会はとても賑やかなひと時でした。大野RC会員約30名のおもてなしに頭が下がりました。

昨年の震災以降、市民の防災意識は高まったと言われています。民間会社の調査結果も、次のような変化を伝えています。マンションの防災訓練に参加するようになった。家具を固定した。それらはむしろ大事なことです。付け加えて、家の中で今すぐとれる対策として、「部屋のドアを閉めない」ことを挙げたいのです。私は一人暮らしの時代はずっとこれで通しました。

し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的とする日本のロータリー独自の事業です。主旨をご理解頂き、会員の皆様には10,000円以上のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 「バングラデシュの結婚式」

#### アティックール氏



バングラデシュの結婚式は、90%以上がイスラム教徒なので、イスラム方式で行われ、基本的に3日間続きます。結婚式1日目。新郎新婦が、それぞれの家で親族を招いて、別々に門出の式があります。これは、ガヤホルードの儀式といわれ、ガヤ=体に、ホルード=黄色を付けるというものです。黄色が光に照らされて黄金色になることから縁起を担ぐものです。

結婚式2日目。新郎が新婦を迎えにくる日です。新郎は、綺麗に花などで飾られた車で、新婦の家にやってきます。家の門のところには、イスなどが並べられ、テープなどが張られます。そして、近所の人や親戚の人たちがテープの前に群がります。これは儀式の一つでこの関門を新郎がうまく潜り抜けれないと新婦のところへはいけません。関門を開く鍵の一つは、ことばで言うと賄賂です。結婚式3日目。無事に新婦を迎えて、一夜明け、今度は、友人、知人、近所の人たちを新郎の家に呼んで大会食。これで一応、結婚式がめでたく終了となります。



### 地区米山奨学委員 高山武久氏



今月は米山月間です。米山梅吉氏が亡くなってから、募金が始まり、全国のロータリアンの寄付によって運営されています。2つの大きな特徴があり、1つは、経済的支援だけでなく精神的ケアも含めた物心両面の援助をしている点。2つめは日本最大の民間奨学事業であります。これまでに支援した奨学生数は、累計で1万7,028人(2012年

7月現在) その出身国は、世界121の国と地域に及びます。2011-12年度の寄付金は12億9,500万円で、奨学金・事業費にかかった14億400万円に対し、1億1,000万円の不足でした。不足分は特別積立財産を取り崩して補いましたが、今後は奨学生採用数を800人から700人に縮減して、事業費を抑えることとなります。

### 炉辺会合報告

テーマ 武生ロータリークラブの長期計画について(5年後)  
 第3班 責任者:三田村久治会員 発表者:宮前貴司会員  
 出席者:内藤会員・中西会員・森上会員・宮本会員  
 折田会員・三田村士郎会員 計8名

会の冒頭、三田村責任者より今年のテーマ「足元を見つめよう」になぞらえ、入会当時(約40年前)の緊張感のあるクラブ運営についてお話がありました。  
 ・例会の緊張感・先輩諸兄の姿・SAAの威厳  
 「ロータリーの友」9月号の寄稿文「先輩からまなぶこと」を参照していただきたい。



#### 5年計画の立案にあたって考慮すべき点

・単年度会長でその意向を汲んで運営をしており、長期計画が成り立つのか疑問。目標が定めにくく、その必要性が見えない。その点をクリアにする必要がある。総意に基づく5年計画を立てないと、実現が困難。  
 ・炉辺会での意見を汲み上げる仕組みが必要。運営の一助になっているかが見えない。

#### 5年計画の内容にあたって考慮すべき点

・職業の成果として奉仕する内容はどうか。  
 ・過去の長期計画で中だるみしたものがあり、問題となっている。長期の計画は、その後の運営・管理が可能か? その方法まで議論すべき。(里楽の事例:植樹の長期管理が問題になっている。)  
 ・良い事業は、単年で取り組んでも自然と継続事業に発展していく。こういうものにすべき。

#### 具体的な計画内容について

・温故知新で緊張感のある運営・例会を目指してはどうか?  
 ・会員の増強が必要(他3名)  
 ・入会者は規律や偏見を除き、奉仕の意義を理解した者にすべき。

#### ニコニコ箱 …… 16,000円

- 高山武久米山地区委員
- 佐々木会長 ○石川満夫 ○辻岡俊三
- 鎌谷忠雄 ○宮前貴司

昨年、ひとり暮らしの人間を震撼させる「事件」が報じられました。63歳の女性が、自宅のトイレに八日間にわたり閉じ込められたのです。その人はひとり暮らしではありません。同居の母親がいましたが、たまたま入院中にそれが起きました。

女性がトイレに入ったところ、ドアの向こうで大きな音。驚いて開けようとしたが、動かない。廊下の壁に立てかけてあった段ボール箱が倒れてきて、つかい棒となってしまったのです。

携帯電話は持たずにいった。窓の無いトイレのこと。換気扇に向かって叫ぶが、外部からの答えはない。会社勤めをしている頃なら、無断欠勤すればただちに異変に気づいてもらえたが、あいにく退社したばかり。助けは来ぬまま日が過ぎる。

口にできるのは、手を洗うための水のみ。このまま餓死するのか、筆記用具があれば遺言を書くのに、と考えたと言います。娘が訪ねてこないのを不審に思った母親が、看護師に連絡をとるよう頼んだのがきっかけで、救出されました。

女性の場合は母親がいたが、自分だったらと想像し、背筋が寒くなった。以来、自宅ではトイレのドアを開け放しています。初めは落ち着かなかったが、じき慣れました。どうせひとりだから、問題なしです、とのこと。

私はこの教訓を読んで、寝室のドアは半開きに、廊下に段ボール箱等の大きな箱類は置かないなどを心掛けています。廊下の物は避難時の障害になることが確実ですから。

今日の一言:「百の頂きに百の喜びあり」深田久弥

### プログラム

#### 米山月間に因んで

#### 辻岡米山奨学委員長

米山奨学事業はロータリーの理想とする国際理解と親善を深めるために優秀な留学生を支援

